

令和4年度飯山市美術館運営協議会（第2回）

日時 令和5年2月16日（木）15:30～

場所 飯山市公民館101会議室

1 開 会

2 辞令交付

- ・明石洋一委員

3 あいさつ

- ・廣靖彦美術館運営協議会長
- ・松木英文教育長

4 協議事項

- （1）平成4年度事業について（報告）
- （2）令和5年度事業計画（案）について
- （3）令和6年度以降の企画展等の予定について
- （4）その他

5 そ の 他

- ・委員の任期について

6 閉 会

飯山市美術館運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、飯山市伝統産業会館条例(昭和57年飯山市条例第22号)第19条に定める飯山市美術館運営協議会(以下「協議会」という。)の委員の定数、任期その他必要な事項を定めるものとする。

(定数)

第2条 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

(任命)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識者から教育委員会が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 協議会に会長を置き、委員が互選する。

2 会長が会務を総理する。

3 会長が事故あるときは、あらかじめ会長が指名した委員がその職務を代理する。

(協議会)

第6条 協議会は、美術館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対し意見を述べることができる。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成18年2月20日教委規則第1号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月24日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第1条の改正規定は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月31日教委規則第4号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

令和4年度飯山市美術館運営協議会委員 名簿

飯山市美術館運営協議会委員 名簿（敬称略）

令和5年1月1日現在

	氏 名 等	備考（推薦団体等）
1	廣 靖彦（会長）	有識者
2	丸山 公人（会長職務代理）	飯山市芸術文化協会
3	吉越 隆師	飯山市芸術文化協会
4	千坂 経悦	飯山市高校美術科担当者
5	明石 洋一	飯山仏壇事業協同組合
6	高山 顕光	飯山市校長会
7	伊達 信寿	社会教育委員
8	阿部 拓也	内山紙協同組合
9	小林 豊彦	公募委員

（任期：令和5年4月30日まで）

教育委員会関係者

1	松木 英文	教育長
2	田中 良則	文化振興部長（兼）文化交流課長
3	井端 伸介	美術館長（兼）美術館係長
4	木村 友子	会計年度任用職員
5	小林 隆子	会計年度任用職員

	事業名	内容・効果等	期間・会場等	入館者数等
常設展示	常設展示(前期)	飯山市出身あるいはゆかりの芸術家で、これまで企画展を開催した画家の作品を中心に展示。	R4.4.1～R4.7.3	入場者数:685人 ※ギャラリー展含む
	常設展示(展示替え)	美術館収蔵品60～70点を展示した。 作家名等:長谷川青澄(日本画)・宮澤鉄夫(日本画)・相原求一郎(油絵)・駒村久彌(油絵)・岩上隆静(水彩)・齋藤一郎(和紙作品)	R4.11.24	
	常設展示(後期)	後期では、2階ギャラリーを「彫刻家・箕口博の生誕100年記念」の展示コーナーとした。	R4.11.26～R5.3.31	入場者数:228人 ※R5.1.31時点
ギャラリー展	河野文夫が描く 梁塵秘抄の世界	戦後の飯山の美術教育に大きく貢献した河野文夫(1908～1991、佐賀県出身)の墨彩画約170点を展示。	R4.4.20～R4.7.3 開館日数:65日 会場:2階ギャラリー	入場者数:663人
	伝統の技 工芸作家三人展	市の伝統産業である飯山仏壇の製作に携わる伝統工芸士3人(彫刻:森徳壽、蒔絵:藤澤一雄、彫金:三ツ井照雄)による作品展。 ※期間中、伝統工芸士3人が講師を務めた体験教室を3日間開催。	R4.6.1～R4.7.3 開館日数:29日 会場:1階ロビー	入場者数:462人
企画展	没後50年 佐藤武造展 -故郷に愛された作品たち-	飯山市瑞穂地区出身の画家で大正初期から昭和にかけてイギリスで活躍した画家佐藤武造の没後50年を記念し、個人等20カ所から90点を借用し美術館所蔵作品30点と合わせて120点を展示。これまで確認されていない水彩画や絹絵、漆絵を発掘し紹介出来たと同時に郷土の画家の画業をあらためて顕彰する展覧会となった。 ※会期中の7月23日に「学芸員によるギャラリートークとスケッチブック鑑賞会」を開催し、約30名が参加。	R4.7.9～R4.8.27 開館日数:43日 会場:ロビー及び展示室	入場者数:986人
	紙宮 和紙作家 森田千晶展	平成17年に飯山で開催された「和紙の仕事大賞」で大賞を受賞した和紙作家、森田千晶氏(埼玉県坂戸市出身在住)の作品展を開催。照明デザインや空間音楽、映像の各専門家のほか、飯山和紙研究会の協力を得て五感に訴える現代的な展示が実現した。展示内容は極めて抽象的であったが、来館者の反応は年齢層を問わず好評であった。様々な美術作品の鑑賞機会を求められる美術館として、特に現代美術作品の展示の必要性を再認識することができた。 ※9月23日には作家を講師としたワークショップ「透かし和紙をすく」を開催、県内外から12名が参加。	R4.9.3～R4.11.20 開館日数:68日	入場者数:2,806人
美術教室等	はし置き作り 「彫金でマイはし置きをつくろう！」	伝統工芸士の三ツ井照雄氏を講師とし、彫金による「はし置き」を作る。 (公民館夏休み体験教室)	R4.8.3 会場:公民館103	参加者数 小学生 10名 保護者 5名
	小物ケース作り 「小物ケースに和紙とレジンでデコっちゃおう！」	小物ケースに和紙で模様をつけてレジンで飾り付けてオリジナルマイ小物ケースを作る。 (公民館春休み体験教室)	実施予定日: R5.3.24 会場:公民館103	募集人数:15名 参加者数:
施設整備	2階男子トイレ改修工事	2階男子トイレの和式便器2基のうち1基をウォシュレット式の洋式便器に改修。利便性が向上した。	R4.8.22契約 R4.10.24完了	
その他	美術品購入対応	本年度企画展で展示した作品から佐藤武造の漆絵、絹絵他、34点を購入した。	R4.12.14契約 R4.12.18完了	

令和 5 年度事業計画（案）

1 常設展示

内容： 飯山市出身あるいはゆかりの美術家及び企画展を開催した美術家の作品を中心に常設展示を行う。美術館収蔵品及び借用作品を合わせて 60～70 点を展示する。

期間：①令和 5 年 4 月 1 日（金）～令和 5 年 7 月 2 日（日）※約 3 か月

※4/15（土）・16（日）は第 43 回飯山市民芸術祭展示部門の会場として使用。

②令和 5 年 12 月 1 日（金）～令和 6 年 3 月 31 日（金）※約 4 ヶ月半

2 企画展開催事業

（1）『〈仮称〉岩上隆静没後 10 年展』

内容： 飯山市出身の画家岩上隆静の没後 10 年を記念した企画展を開催する。当館所蔵作品と個人や施設等から借用した水彩画等合わせて約 100 点を一堂に展示し、郷土の風景を見つめ続けた画家の想いを感じると同時に、郷土の美しい景観を広くアピールする機会とする。

期間：令和 5 年 7 月 8 日（土）～令和 5 年 9 月 10 日（日）

備考：市の広報誌や i ネット放送を活用して、岩上隆静作品等の情報を収集し、幅広く展示作品を決定したいと考えている。

関連事業：期間中に「〈仮称〉岩上隆静先生との思い出を語る会」を開催する。

（2）『〈仮称〉星野秀樹写真展』

内容： 福島県出身飯山市岡山地区在住《2015 年飯山市に移住》の写真家・星野秀樹氏（1968～）が『「里に暮らし、森に通う」という日々の中で出会う、ブナの木々が織りなす物語』というコンセプトで発表する写真展。

期間：令和 5 年 9 月 16 日（土）～令和 5 年 11 月 26 日（日）

関連事業：本人によるギャラリートーク等（調整中）

3 ギャラリー展等

方針：市出身やゆかりの有無にこだわらず、市外の作家も積極的に紹介し、施設の有効活用・活性化を図る。

（1）『伝統の技 工芸作家 3 人展』

内容： 市の伝統工芸である飯山仏壇の製作に携わる伝統工芸士 3 人（彫刻：森徳

壽・蒔絵：藤澤一雄・彫金：三ツ井照雄）の作品展を開催する。

具体的な展示作品は、ペンダントやブローチなどのアクセサリ、スマホスタンド、一輪挿し、銘々皿、壁飾りなど、日常に使用可能な身近に感じられる作品を展示する。

期間： 令和5年6月上旬（調整中）～令和5年7月2日（日）

会場： 美術館ロビー

備考： 会期中に「彫刻」「蒔絵」「彫金」の体験教室（有料）を開催する。

（2）彫刻家・猪瀬清四朗氏の追悼展検討

今年、1月22日に逝去された飯山市出身の彫刻家・猪瀬清四朗氏の追悼展を検討する。開催することは可能か、開催する場合どのような展示が望ましいかなどについてご遺族と相談する。

（3）その他

登録社会教育団体から利用希望があれば、随時、検討を行う。

4 ワークショップ・美術教室等

方針： 特徴ある美術館づくりを目指して、絵画制作等のワークショップを継続して取り組む。また、美術家等に協力を仰ぎ、美術を身近に感じ楽しむためのギャラリートークやワークショップを実施する。

○夏休み・春休み体験教室の美術・図工の講座を担当実施

市公民館主催の小中学生を対象とした夏休み・春休み体験教室において、美術・図工関連の講座を担当予定。

実施内容については、今後、検討していく。

5 五郷研修館の活用・県外在住作家との連携

美術館活動の活性化を目的として始めたアーティスト・レディデンス的な活動。平成21年に企画展「五郷分校の作家たち」を開催後、制作活動は活発には行われていないが、専門家としての立場から美術館活動にアドバイスをいただくなどしてきた。

また、令和2年度以降はコロナ禍のため活動実績はなく、状況を見ながら日本大学芸術学部教授の瀬島匠氏を招いて特別授業等の開催を検討することとしたい。

（備考）五郷研修館は老朽化が著しく、解体を視野に入れる時期に来ている。

研修館を使用している美術家：

○原田卓三（大阪府在住、東京芸術大学大学院修了）

○瀬島 匠（東京都在住、武蔵野美術大学卒、日本大学芸術学部教授）

○内田 寛（愛知県在住、名古屋芸術大学卒）

○星 晃（埼玉県生まれ 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒）

6 管理運営関係

◎臨時休館する日

4/14(金)・4/18(火)	春の展示替え ※4/15・16 の二日間は市民芸術祭
7/4(火)～7/7(金)	岩上隆静没後 10 年展開催に伴う展示替え
9/12(火)～9/15(金)	岩上展終了から星野展開催に伴う展示替え
11/28(火)～11/30(金)	星野秀樹展終了に伴う展示替え

7 その他

(1) 市民ギャラリーの有効活用について

・市民ギャラリーとして使用している場所

- ①公民館1階廊下の壁面 ②公民館階段の壁面 ③公民館2階ロビーの壁面
④公民館側の図書館入口手前のガラスケース

(2) 広報活動について

- ・広報飯山、i ネット、防災無線放送を活用した美術館情報の発信等
- ・SNS(インスタグラム)を活用した情報発信

令和 6 年度以降の企画展等（案）

令和 6 年度 (2024)	(準備中) (仮称) 長谷川青澄没 後 20 年記念展	・市美術館を代表する画家・長谷川青澄の没後 20 年の節目を記念し企画展を開催する。 ・詳細は今後検討予定。
	(準備中) (仮称) 城北中学校区 4 小学校統合記念展	・令和 7 年 4 月に城北中学校区新統合小学校の開校が予定されていることから、その機運を盛り上げるため、統合する 4 小学校（泉台小・常盤小・戸狩小・東小）が所蔵している美術工芸品など学校の歴史や思い出が詰まった品々を集めて展示する。 ・詳細は今後検討予定。 (備考) ・飯山市ふるさと館と連携して開催する予定。
令和 7 年度 (2025)	(検討中) 郷土にゆかりのある 美術家の企画展	・郷土出身あるいはゆかりのある美術家の個展またはグループ展を検討中。
	(検討中) 現代美術作品による 企画展	・郷土にゆかりがあり現代美術作品を制作する美術家の個展またはグループ展を検討中。
令和 8 年度 (2026)	(検討中) 郷土にゆかりのある 美術家の企画展	・郷土出身あるいはゆかりのある美術家の個展またはグループ展を検討中。
	(検討中) 現代美術作品による 企画展	・郷土にゆかりがあり現代美術作品を制作する美術家の個展またはグループ展を検討中。